



東一小だより

<https://www.ota-school.ed.jp/higashichoufudai1-es/guide/index.html>

2月号

令和4年1月31日発行
大田区立東調布第一小学校
学校長 鳥居 洋子

当たり前を大切にすることを育む

副校長 和田 正典

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。今年に入り、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、東京都では1月21日（金）から2月13日（日）まで、まん延防止等重点措置が適用されることとなりました。昨年秋から冬にかけて一時は落ち着きをみせていた状況だっただけに、「またか。」と感じるとともに「早く平穏で自由な日常を。」と願わずにはいられません。本校におきましても引き続き感染防止対策に万全を期してまいります。

さて、昨年6月より行われておりました体育館及び西校舎の外壁等改修工事が1月末日をもって終了しました。保護者の皆様におかれましては、様々なご協力をいただきありがとうございました。工事に伴い、校庭には敷き鉄板とフェンスが設置され、体育や校庭遊び、クラブ活動において使用場所に制限がかかり、「自由に」「思い切り」身体を動かすことができませんでした。1月17日（月）朝、敷き鉄板とフェンスが撤去された校庭を久々に目の当たりにし、率直な感想として「こんなに広がったかな。」と思わず口にしてしまいました。また、体育館周辺に架けられていた足場も全て外されました。きれいに塗装された体育館を見て驚いたのと同様に、足場があったことによる制約がなくなり、快適さを感じることができました。工事開始前は、「やや狭いな。」と感じていた校庭、「動線が円滑ではないな。」と感じていた体育館周辺。よくよく考えてみると、当たり前であったことやものへの感謝が足りなかったと私自身反省しました。

「当たり前」の対義語は、「ありがとう」だと教わったことがあります。2年前には当たり前でできていたことが、できなくなっている状況が続いている今、「当たり前」だったことへの感謝の心をもつとともに、我々教員が現在の状況を肯定的に受け止め、今の「当たり前」に感謝し、子供たちが学校に楽しく元気に登校できる環境作りをしていこうと思っています。そして、子供たち一人一人が「当たり前」の事柄に、感謝の言葉「ありがとう」が言えるように育ててほしいと願っています。



東一ギャラリー

東一ギャラリー委員長 行田 さゆり

2月14日（月）から19日（土）まで東一ギャラリーが開催されます。1年生から6年生までの図画工作科の作品と5、6年生の家庭科の作品を校内の廊下やオープンスペースに展示します。子供たち一人一人が頑張った作品をぜひご覧いただきたいと思います。

東一ギャラリーでは、友達や保護者の方々に作品を見てもらえることを子供たちは楽しみにしています。見ていただいた後は、ぜひお子さんによかったこと、頑張っていたことなど励ましの言葉をかけていただければと思います。

児童が下校した放課後が、保護者鑑賞の時間となっております。19日（土）は、午後1時から午後4時までです。平日より人数が多くなることも予想されますので、分散して鑑賞していただきますようお願いいたします。展示内容や場所など詳しいことは、配布された案内とプログラムをご覧ください。

2月の生活目標

みんなで協力しよう



生活指導部 菅原 一花

先日家庭科では、ミシンを使った作品作りを終えました。ミシンの使い方や作品を作る工程など、説明はしますが分からなくなってしまうものです。すぐに先生に聞くのではなく、「自分で考え、友達と進めてそれでも分からなくなったら、聞いてね。」と伝えます。高学年になると、自分でできることも増えてきます。作品が出来上がり、振り返りを書くと、クラスの半分以上の子供たちが「友達と協力しながらできた。」「協力したからこそ、できた。」と振り返ることができました。協力があつたからこそ、達成感や楽しかった気持ち、嬉しい気持ちが表れます。協力して何かをやり遂げたときには協力した人にしか分からない感情があることでしょう。

子供たちはすでに、運動会、東一ステージと、「協力」をたくさんしてきたのかもしれませんが。残り2ヵ月、今まで過ごしてきたことを生かして、もう一度東一小のみんなが協力できるよう教職員一同指導を行っていきたくと思います。

1年生だより

行田 さゆり

1年生の生活科では、年間を通して「とういちわくわくなかよしたい」という学習をしています。身近な自然に触れ、自然に浸って遊んだり、それらを使って工夫して遊んだりする活動です。夏には水遊びやシャボン玉遊び、秋にはどんぐりや松ぼっくりを使って遊びました。どのように遊ぶとより楽しくなるか、身近な材料を使ってどんなことができるかなど子供たちなりに工夫をしながら学習してきました。

3学期には、冬の遊びとして昔遊びをしています。自然のものとは違いますが、竹うま・竹とんぼ・羽つき・こま・あやとり・だるま落とし・けん玉・おはじき・お手玉・カルタなど、普段あまりやることがない遊びを体験しています。初めて挑戦するとうまくできない遊びも多く、「難しいからやれない。」「できないからもういやだ。」とつぶやく子もいます。それでも体験しながら子供たちには笑顔が溢れ、できなくても楽しいという気持ちが伝わってきます。このような体験は、学校で友達と一緒に学べるよさの一つだなと感じます。

2年生になるまであと2ヵ月。子供たちには、これからも友達と学べる楽しさを感じ、これまで培ってきた力をさらに伸ばしていけるように過ごしてほしいです。

専科だより

算数少人数担当 堀越 亮一

算数科では全学年で少人数授業を行っています。100人ほどの子供たちを4つから5つのクラスに分けて、いつもより少ない人数で授業を行います。一人一人の「困った」を見付け、丁寧な授業を心掛けています。「先生にたくさん見てもらって算数が前より分かるようになったよ。」とか「発言もできて、自信もついて、算数が楽しくて好きになったよ。」、そんな子供たちの声をたくさん聞きたいなと思いつつ、授業を進めています。

図工専科 長谷部 雅美

2学期から、図画工作科では、東一ギャラリーの作品の制作に入っています。4年生・6年生は平面作品、5年生は立体作品に取り組みました。4年生は、「ようこそ！キラキラの世界へ」に取り組みました。キラキラ紙を切ったり貼ったりして、色鮮やかな作品を制作しました。5年生は、「ミラクル ミラーステージ」を作りました。初めてミラーシートを使って、鏡の不思議さを生かした作品に仕上げました。6年生は、「ステンシル版画」です。一人一人好きな生き物を選び、描いた型紙をカッターで切り抜き、絵の具をスポンジにつけ、彩りを意識して作品を表現しました。「東一ギャラリー」では、一人一人の個性が光る作品をお楽しみください。

2月行事予定表

1	火	校内研究（五組 4のへやは5時間授業）
2	水	区教研のため4時間授業
3	木	体育朝会（低） 五組は4時間授業
4	金	読書活動 東一ギャラリー準備（6年）
5	土	
6	日	
7	月	放送朝会 避難訓練 委員会活動
8	火	安全指導 食育（5年）
9	水	
10	木	クラブ発表会① 代表委員会 食育（2年）
11	金	建国記念の日
12	土	
13	日	
14	月	放送朝会 東一ギャラリー始 道徳授業地区公開講座始 学校公開（6年、5年1組）
15	火	新1年生保護者会 区漢字検定 学校公開（4年、5年2組） クラブ発表会②
16	水	漢字検定予備日 学校公開（3年、5年3組）
17	木	学校公開（2年、5年4組）（五組） クラブ発表会③
18	金	縦割り班活動（5年）縦割り事前（6年） 学校公開（1年） 道徳授業地区公開講座終
19	土	土曜授業 東一ギャラリー終
20	日	
21	月	放送朝会 東一ギャラリー片付け5年 クラブ活動
22	火	音楽朝会
23	水	天皇誕生日
24	木	学習タイム 6年生を送る会
25	金	読書タイム 生命尊重週間始 保護者会（3年、6年、五組） あいさつ運動（6年）始
26	土	
27	日	
28	月	放送朝会 委員会活動

<お知らせ>

すでにお知らせいたしました3学期の予定ですが、今後の新型コロナウイルスの感染状況によってはやむを得ず変更する場合がございます。詳細は学校だより、学年だより等でご確認ください。

研究部より

研究部 堤 正一

今年度も残すところあとわずかになりました。「対話を通して学び合う児童の育成」というテーマを掲げ、1年間を通して取り組んできた校内研究も、いよいよ大詰めでとなります。

本校では、これまでに1～6年生と専科の合わせて7学級で研究授業を終え、2月1日の五組の研究授業をもって今年度の研究授業のすべてが終わります。今後は、それぞれの学年分科会で1年間の研究のまとめを行っていきます。成果と課題を分析し、学校全体でも協議していく予定です。これまでに様々な対話の形や、対話の必要性を高める活動の工夫など、分科会ごとに研鑽を重ねてきました。その結果、子供たちからも「もっと話し合いたい。」という声がかかるようになってきました。1年間のまとめを教職員全体で共有することで、今後の授業改善につなげてまいります。